

平成24年度「緑のカーテン」コンテスト結果

<目的>

枚方市では、地球温暖化防止や暑気対策の有効手段の一つとして手軽に取り組みめる「緑のカーテン」の設置を市民に呼びかけるとともに、その取り組みをホームページなどで紹介することで、市内における緑のカーテンの普及を促進することを目的に「緑のカーテン」コンテストを実施しました。

【緑のカーテンとは】

- ・夏の暑い時期に、日当たりの良い窓の前面などをゴーヤやアサガオなどのつる性植物でカーテンのように覆い、日差しを和らげるものです。

【緑のカーテンの効果】

- ・「緑のカーテン」が直射日光を遮るので、建物壁面や建物内部の温度上昇を抑えられます。また、葉からの蒸散によって周辺温度を下げる効果があるとされています。
- ・夏場の冷房使用はエネルギーを大量に消費します。また、室外機から排出される熱は、地球温暖化やヒートアイランド現象につながります。
- ・緑のカーテンに取り組むことで、建物内部の温度上昇が抑えられ、冷房の使用を減らすことが出来るため、地球温暖化対策やヒートアイランド対策、また省エネにも期待できます。

<対象>

- ・枚方市内で緑のカーテンを設置し、取り組みについて報告できる方（個人、企業、学校も可）
- ・つる性の植物であれば、どのような植物を利用しても可。

<参加者募集>

- ・募集期間：平成24年8月1日～9月28日
- ・広報ひらかた8月号及び市ホームページで参加者を募集しました。
- ・参加者からは、報告書を郵送、電子メール等で提出していただきました。
- ・報告書は緑のカーテンに取り組む上での工夫や効果、感想などの記入と、緑のカーテンの写真(全体の様子が見える写真を含む)を添付して提出していただきました。

<参加件数>

- ・平成24年度 参加件数41件

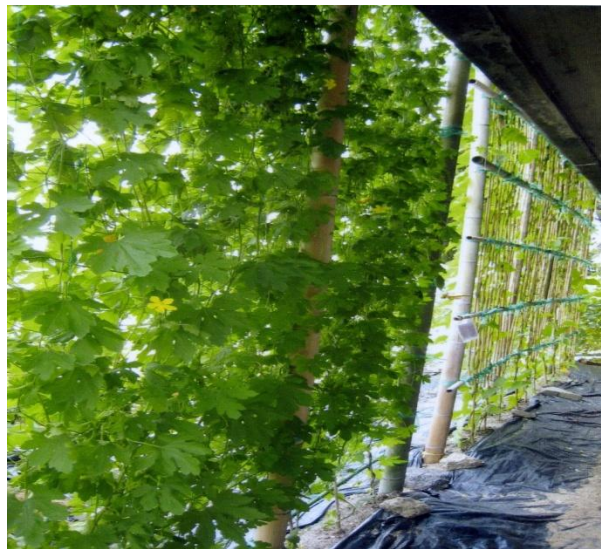
企業・学校部門

【最優秀賞】

大阪府立刀根山支援学校 精神医療センター分教室

受賞理由：校舎の西側・北側でヒョウタン、ゴーヤ、アサガオ、ナタマメを使った棚などを、南側でゴーヤやアサガオを使った大きくて葉が密生した立派なカーテンを作っており、全体として299㎡となっている。

緑のカーテンづくりが、児童への環境教育にも生かされており、前年に採取した種から苗を育てる、廃棄処分となるおからや米ぬかを利用して土作りを行う、支柱となる竹を自分たちで調達する、アサガオを押し花に、ヒョウタンを楽器や置物に、ナタマメのツルをリースに使用するなど、さまざまな取り組みが行われている。

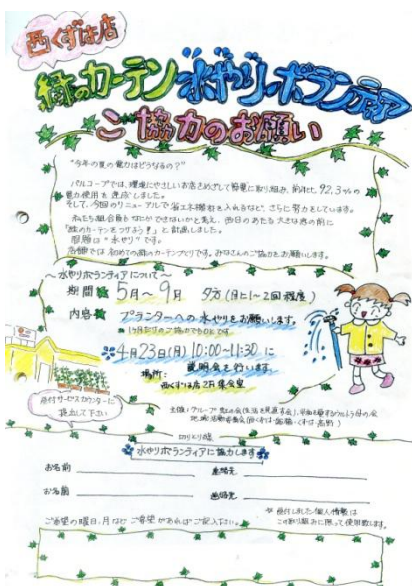


【優秀賞】

おおさかパルコープ西くずは店

「緑のカーテンプロジェクト」チーム

受賞理由：ゴーヤを使って、店舗の駐車場で27㎡の葉が密生したカーテンを作っている。
組合員に水遣りのボランティアを募集し、36名のボランティアのもとスケジュールを組み、当番制で行っている。
ゴーヤの生長などを記載したゴーヤ日記の発行や、ゴーヤレシピを募集・料理交流会の開催・レシピ集の作成など、緑のカーテンが暑気対策だけではなく、コミュニケーションツールとなっている。



【優秀賞】 京セラドキュメントソリューションズ株式会社 枚方工場

受賞理由：ゴーヤ、アサガオを使って、社員食堂の南側・東側の壁面及び2階会議室のベランダで全体として170㎡の大きくて葉が密生したカーテンを作っている。

カーテンの設置で温度差2℃以上の効果をあげ、収穫した300本以上のゴーヤの実を従業員や会社の夏祭りの来場者に配布しているほか、枚方市地球温暖化対策協議会にも提供し、提供したゴーヤは、枚方まつりでの環境ブースで配布されるなど、環境を啓発する取り組みとなっている。



【優秀賞】

高園テクノロジー株式会社

受賞理由：ゴーヤ、アサガオを使って、建屋及び渡り廊下壁面で120㎡の大きくて葉が密生した立派なカーテンを作っている。

カーテン作りにおいて、ゴーヤの重みに耐えるためポール・ネットを設置し、ツタが絡まらないようこまめな手入れを行っている。育ったカーテンで直射日光を遮り、やわらかい光で癒しの空間をつくるとともに消費電力削減効果をあげる取り組みとなっている。



個人部門

【最優秀賞】 上村 雅子 さん

受賞理由：ゴーヤを使って、マンションのベランダで11.6㎡のカーテンを作っている。

天井にもネットを張ることで、天井から実がたくさんなるユニークな形の緑のカーテンとなっている。

緑のカーテンの写真を、暑中見舞いのはがきや近況報告メールの添付データとして活用したり、収穫したゴーヤを使って家族で料理をしたりと暑気対策以外の効果も多くみられた。



【優秀賞】 岡田 明子 さん

受賞理由：ゴーヤやミニトマトを使って、店舗の前に8.2㎡のカーテンを作っている。

高さを2mで止めて横に伸びるようにし、手作りのアーチ型に仕上げています。

日よけによる暑気対策にとどまらず、道行く人が緑のカーテンを見て立ち止まり、会話に花が咲くこともあり、知らない人同士のコミュニケーションの場となっている。



【優秀賞】 北谷 静子 さん

受賞理由：ゴーヤ、アサガオ、冬瓜、カボチャ、キュウリを使って、西側と南側の壁、南側の庭に全体として15㎡のカーテンを作っている。今夏には、初めて朝から夕食時までクーラーを使わずに生活ができています。ゴーヤ・冬瓜・カボチャなど食用の植物を使った緑のカーテンとなっているので、収穫したゴーヤを佃煮にしてご近所に配布するなど楽しい取り組みになっている。



【優秀賞】 津熊 武男 さん

受賞理由：ゴーヤを使って、住居を囲む5か所に合計34㎡のカーテンを作っており、個人部門の緑のカーテンでは、最大となっている。中でも寝室の窓側に設置した緑のカーテンは、成長して屋根まで届いている。

朝晩の水遣りを欠かさず、肥料の油粕を10日に1度与えたことで、今年は、配ることができないくらいの収穫があり、夕方に水をかけると、ムツとした室内が一気に涼しくなる暑気対策効果もみられた。



ひらかたエコフォーラム2013で表彰しました

市長



大阪府立刀根山支援学校



おおさかパルコープ 西くずは店
「緑のカーテンプロジェクト」チーム



京セラドキュメント
ソリューションズ株式会社枚方工場



高園テクノロジー株式会社



上村 雅子 さん



岡田 明子 さん



北谷 静子 さん



津熊 武男 さん



参加作品一覧（順不同）

企業

多数ご参加ありがとうございました



京都信用金庫 枚方支店



株式会社くらこん 枚方工場



株式会社サンエース



タイロン株式会社



デイサービス フーライ



枚方信用金庫



ユニオンケミカー株式会社



理研ビタミン株式会社 大阪工場



個人

多数ご参加ありがとうございました



秋山 たつ子 さん



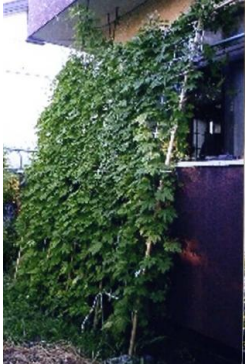
上野 昌男 さん



小畠 万凧津 さん



川村 静男 さん



黒田 千賀子 さん



高橋 興一郎 さん



高橋 尚子 さん



永田 正純 さん



仲本 由香 さん



藤田 健二 さん



松本 修一 さん



真鍋 孝子 さん



村口 ミヨ子 さん



森 容子 さん



山下 幸子 さん



由比浜 亨 さん



渡辺 宏治郎 さん



大川 彰 さん



莊保 妙子 さん



古澤 真須美 さん



弓手 恵 さん



領家 孝義 さん



金谷 憲二 さん



竹田 良次 さん



松本 明男 さん



花園 真知子 さん



こんな植物で「緑のカーテン」

(ひょうたん)

大阪府立刀根山支援学校



(ミニキュウリ、白ゴーヤ)

永田 正純さん



(冬瓜)

北谷 静子さん



(あかざ)

領家 孝義さん



緑のカーテンで苦労するのが、水やり…。今回、コンテスト参加者の竹田良次さんが水やりでこんな工夫をされていたので、紹介します。



(セイロン瓜)

チャンパー クマーリさん

枚方市外からの参加です！

見た目がへびに似ているので、別名へび瓜とも言うそうです。



洗面器・2リットルのペットボトル・1 cmの厚さの板・ホース・紐(くつ紐が良いそうです)を使った手作り装置です。(3m×2.2mのカーテンの場合) 2リットルのペットボトル8本分の水で2~3日留守でも大丈夫だったそうです。この装置は、毛細管現象を利用したもので、電気も使わずに自動で水やりできるそうです。

参加者からの「緑のカーテン」による効果・感想(一部抜粋)

- 今年の如き猛暑で雨の少ない年は植物には水が足りず、人間もゴーヤも生きる事が大事、水の大切さを知った。コンクリート化された世の中で緑を見る事は実際より涼しく感じる。
- 今年初めて、母が申し込んだ市役所から頂いたゴーヤの苗で「緑のカーテン」に取り組みました。黄色くかわいい花が咲いて、ゴーヤのミニチュアみたいにちっちゃな実を付けたのを見たときには、とてもうれしかったです。学校の宿題に出ている「新聞」では「ゴーヤ新聞」を書くつもりです。母が『「食育」にもなるから来年も申し込もうね』と言っていました。
- 日々、ゴーヤの成長を楽しむことができました。花に大きなアゲハ蝶が集まり、癒しを感じることができました。
- 自然の緑は気持ちが良く、エコにもなり今年はゴーヤの育ちも良くてたくさん食しました。友人たちも2階まで育ち実もたくさんなったゴーヤを見て「来年は、」と思ったようで仲間もふえそうです。
- 今年の夏、初めて朝から午後6時までクーラーなしで生活出来ました。
- ゴーヤを通じて道ゆく人を楽しませ、立ち止まって、ゴーヤに触れながら会話に花が咲き地域のコミュニケーションに貢献してくれました。地球温暖化防止とコミュニケーションの場として活躍する。緑のカーテンに感謝しています。(助言いただいた先輩のお陰で今までの中で一番の出来になりました。)
- 太陽光の重要性を実感した。来年は十分に日光が当たるようにすることで再度チャレンジしたい。
- 直射日光を遮る事で室温が下がり、空調面で節電効果がありました。